

【校長室便り】 No,号外

H30年6月23日(土) 土佐町小中学校 谷内宣夫

ライバルは学級内だけではない!



平成30年度、高知県の中学校は122校(国・公・私・分校)あります。高知県下の全中学生の人数は約1万8千人です。1学年6千人強の生徒がいます。

日本全国では約333万人の中学生がいます。



1学年100万人以上のライバルが存在します。



これから、高校受験・大学受験・就職等いろいろな場面で競争することになります。社会に出るともっと多くの人間と競争したり、協力したりしなければなりません。入試や資格を取るための試験、入社試験・面接等、これから今以上に自分の力を試される(テスト)場面が多くなります。

また、皆さんが高校生になると大学入試(大学入学共通テスト)の内容や方法がかわっています。



高校での「基礎学力テスト」や英語の試験に民間試験(英検やケンブリッジ英語検定等)が導入されるなど大きく変化していきます。



そういう「試験」で実力を示すためにも、**今中学校段階で、基礎的な学力を身に付けておきましょう。**そういう学力的なことと共に、社会に出れば今以上に、**多くの人々とかわりを持って「コミュニケーション」をとることのできる力・協力して考えたり作り上げたりすることのできる力、周りから信頼され仕事を任せられる「人間力」が必要です。**

それらの「力」の基礎も、この中学生の時に培っているのです。やらなければならないことに対して、懸命に取り組むことができる習慣を今、義務教育の時に身につけておくことです。たった70名(土佐町中の全生徒数)、学級では20数名程度の中で他の生徒と自分を比べて、少し周りよりテストの点が高いと満足し、それ以上努力をしない生徒。家庭学習で自分が覚えていて書きやすい漢字や単語を1ページ**手の運動として**



書き、以上で終了。という生徒もいます。少しの頑張りで満足し、「自分は頑張った!」と胸を張っている生徒があらこちらに見られます。18日の生徒総会で充実した家庭学習



にするためにはどうするのか話し合いましたね。

わからないこと・できないことを学ぶのが勉強です。単にわかりきったことをノートに写すだけの**作業(学習ではない)**では、学力は身につけません。**時間の無駄です。**学習の仕方や内容を各先生方から指示されています。**どうせやるなら自分のためになることをやったほうが良いと思いませんか。また、今やるべきことをやらないと、後で苦勞をします。後からできるようするには何倍もの努力が必要です。結局、ちょっと頑張ってみただけできない事ばかりなのであきらめます。**そんな生徒を今までどれだけたくさん見てきたか。やりたいこともあきらめてしまうようなことが無いよう、今やるべきことをきちんとやる習慣を身に付けましょう。学習以外にもやりたいことがたくさんあると思います。貴重な時間を無駄にすることなく有意義に使うという意識で取り組んでください。



部活動の練習でも同じです。低いレベルで満足していませんか?部活動が強い学校は、試合でどのように活用するのか考えて一つ一つの動きを練習しています。本校の生徒と他校の生徒の身体的な能力はほとんど変わりませんが、**意識が決定的に違います。必然的に、トレーニングの内容や量、密度が同じだとしても、身についた技能(力)が違ってきます。**自分を追い込んだ練習を普段からしている学校と勝負をすれば結果はわかると思います。肝心なときに普段通りのプレーができる。追い込まれたときにプレッシャーに負けず冷静にプレーできる。そのためには毎日の練習に取り組む意識を高め、まずは指導者から指示されたことを確実にできるように取り組む。そのうえで、自分で工夫して自分の技量を高める練習をすることです。

この夏休み、自分自身を大きく成長させるチャンスです。

意識を外に向け自分を高める取り組みをしよう!

